

小鹿野中学校だより第1号

令和7年4月8日

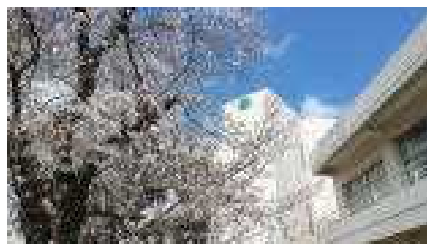
さ 小 鹿



新たなスタート

校長 新井 一也

入学・進級おめでとうございます。本日、
新入生58名を迎えて令和7年度が幕を開け
ました。小鹿野町にとっては小学校が統合の
年、本校にとっては3学級並行の規模から1
年生が2クラスとなり、新たな一年がスタートします。



さて、新2・3年生には始業式で「よい手本に」、「学力向上」という話を
しました。小鹿野中学校ではこれまで先輩が下級生のよい手本となることが伝
統として受け継がれてきています。新入生が早く鹿中になじめるよう、2・3年
生は学校行事の場面のみならず、無言膝つき清掃やハンドサイン行動、全力校歌
など、日々の学校生活の場面においてもよい手本を見せて欲しいと思います。ま
た、昨年度は全校で心を磨いて非認知能力を伸ばしてきました。特に、物事に粘
り強く取り組む「忍耐力」や自己をさらに高めようとする「向上心」が大きく伸
びました。これらの力を礎にして授業や家庭学習に臨むことで、必ずや一人一人
の学力が向上するものと期待しています。

入学式では新入生に向けて本校の校訓「『もと』をつくる」について話し
ました。この言葉は本校初代校長の石川延蔵先生が用いたものであること、
「もと」とは人間としての心構え、態度であることを紹介しました。三年間
の中学校生活の様々な場面で「もと」をつくって欲しいと思います。

今年度226名の生徒、43名の教職員とともに、小鹿野中学校の歴史と
伝統をもとに、生徒の実態に合わせた教育活動を展開して参ります。保護者
・地域の皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年度学校経営方針

〔校 訓〕 もとをつくる

〔学校教育目標〕 誇り高く 志高く たくましく

〔目指す学校像〕 明るく楽しい地域に誇れる学校

〔目指す生徒像〕 郷土小鹿野に誇りを抱き、

確かな「人間力」を身に付けた生徒

〔目指す教師像〕 生徒・保護者・地域から信頼される教師